

「駐車場アンケート調査」集計結果概要（速報）

1. 調査概要

目的：大山の環境保全及び施設の維持管理に関し、受益者負担による仕組みを検討するとともに、仕組みの導入がもたらし得る影響について分析

調査実施者：環境省・鳥取県・大山町（業務請負者：公益財団法人日本交通公社）

調査期間：令和元年9/28（土）、29（日）、10/6（日）

調査時間：午前9時～午後5時

調査場所：博労座駐車場

調査方法：人員を配置して現地配布（景品のハガキ付き）、郵送にて回収

調査票数：1,025票配布し、369票回収。

2. 調査結果

（1）属性（N=369）

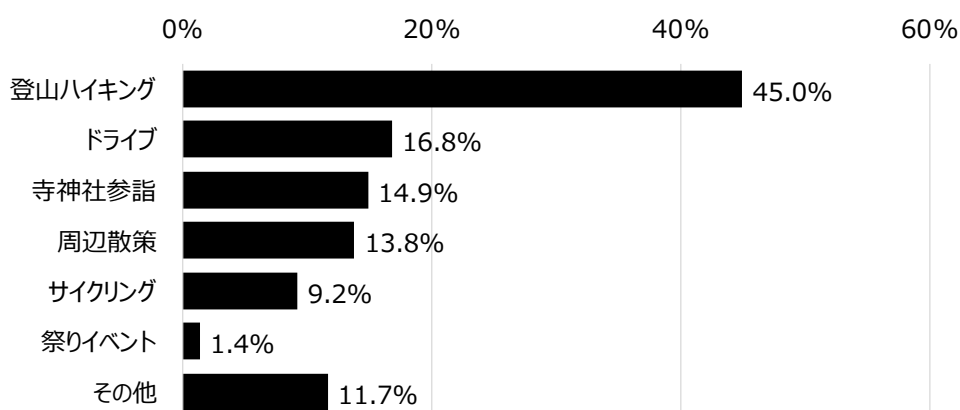
性別：男性 53.9%、女性 43.2%、無回答 1.9%

年齢：10代 1.1%、20代 3.2%、30代 10.7%、40代 26.5%、50代 24.4%、60代 20.9%、70代以上 9.9%、無回答 2.1%

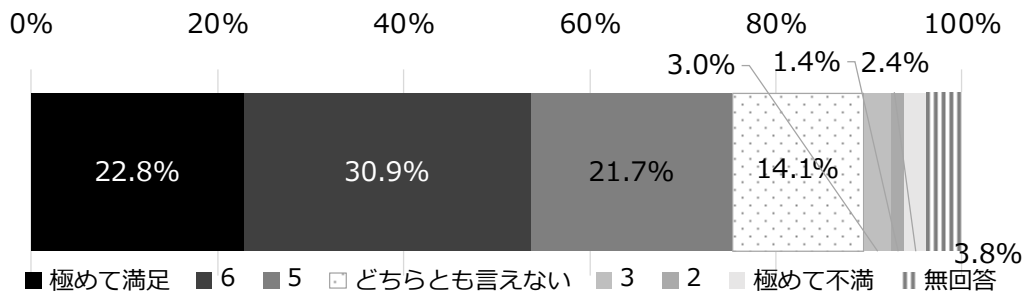
居住地：鳥取県外 62.5%、鳥取県内 33.5%（※米子市内・大山町内 19.8%）、無回答 3.2%

訪問経験：初めて 19.6%、2回 6.7%、3回 4.8%、4回 2.7%、5回 3.8%、6回以上 60.3%、無回答 1.1%

（2）大山への訪問の主な目的（N=369）



(3) 訪問の満足度 (7段階評価) (N=369)



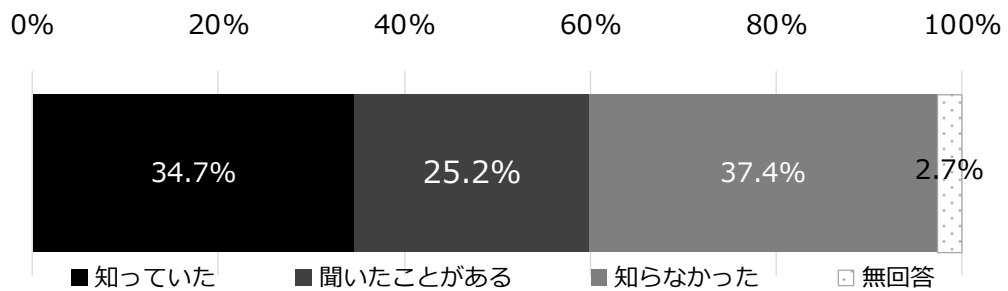
(4) 訪問に参考にした情報源 (複数回答) (N=369)

観光関連のウェブサイト (大山観光局 HP 等) 37.7%、その他 28.7%、登山関連のウェブサイト (ヤマケイオンライン、ヤマロ等) 16.3%、SNS・個人ブログ 13.8%、旅行雑誌・ガイドブック 13.6%、スマホのアプリ (YAMAP 等) 13.3%、口コミサイト (トリップアドバイザー等) 3.5%、無回答 7.6%

(5) 旅行中の登山の実施 (N=369)

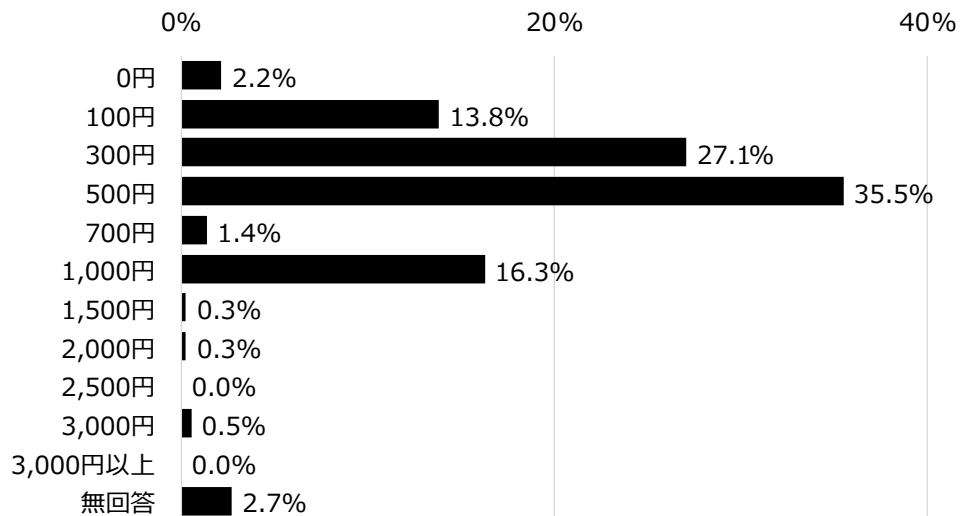
登山はしない 56.3%、登山をした 39.3%、登山をする予定 4.5%、無回答 2.8%

(6) 大山の山岳環境や施設に関する課題の認知 (N=369)

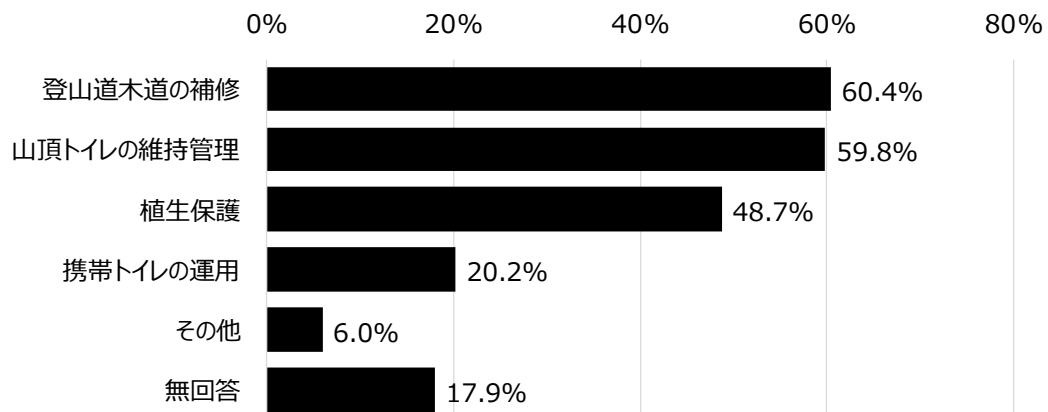


(7) 協力金への支払意志額（駐車1回あたり）（N=369）

中央値 500 円、平均値 484 円



(8) 希望する協力金の使途（複数回答）（N=351）



(9) 改善した方が良くと思う点（自由記載）

- ・ 改善した方が良くと思う点は、「協力金」に関する回答が最も多く 58 件、続いて「登山道整備」（31 件）、「トイレ」（18 件）、「情報発信」（17 件）となった。
- ・ 協力金については、トイレチップ制にするべき、入山料を徴収するべき、駐車場で料金を取るべき等様々な提案が見られた。大山の保全活動や施設整備に協力金を用いるのであれば、観光客も利用する駐車場で料金を徴収することには納得できないといった意見も見られた。
- ・ 登山道整備については、登山道の崩落個所の指摘や老朽化など整備に関する回答が多く見られた。
- ・ トイレについては、携帯トイレの利用の難しさに関する意見や推進を求める意見が見られた。推進する意見の中には、携帯トイレの無人販売所の設置を提案する回答も見られた。
- ・ 情報発信については、登山のマナーやごみの持ち帰りに関する周知や、保全のボランティアに関する周知を求める回答が多くみられた。